

徳島県の建設物紹介



建設の仕事は
私たちの暮らしの
すぐそばにあります。

上流部



猿子谷砂防ダム

三好市



木沢上那賀線(落石対策)

那賀町

中流部



祖谷口橋(耐震補強)

三好市



祖谷川護岸

三好市

平野部(道路・河川)



徳島自動車道 徳島IC

徳島市



徳島南環状線

徳島市



園瀬川(河川改修)

徳島市

平野部(施設・橋)



鳴門・大塚スポーツパーク

鳴門市



徳島県立海部病院

牟岐町



加賀須野橋(新橋)

徳島市・松茂町

河口・沿岸部



那賀川堤防

阿南市



阿波しらさぎ大橋

徳島市



オーシャン東九フェリー(新)
徳島港フェリーターミナル

徳島市

一般社団法人徳島県建設業協会

〒770-0931 徳島市富田浜2-10 TEL.088-622-3113
http://www.tokuken.or.jp

この冊子はホームページからもご覧いただけます http://www.tokuken.or.jp/news/mpamph27.html

写真提供 徳島県県土整備部
国土交通省四国地方整備局
イラスト つがおか一孝
事業名 建設業魅力発信事業(徳島県委託事業)
発行 平成28年3月



「建設業」の
仕事わかる!

BUILD & PROTECT

あなたの街をつくる・まもる「建設業」

一般社団法人徳島県建設業協会

建設業ってどういう仕事!?

建設業は街そのもの

人々が生活するために必要なものや、より便利な暮らしができるようにするものをつくるのが建設業の仕事です。

私たちが毎日を過ごす住宅や学校、会社などの建物に加え、ガスや電気の設備といった生活に関わるもの、人々の行き来をつなぐ道路や鉄道のように交通に関わるもの、さらには堤防やダムなど防災に関わるもの。それらすべてをつくり、まもる。建設業は言わば街そのものであり、私たちにとって最も身近にある職業なのかもしれません。

建設業は右記のように、大きく「土木」と「建築」の2つに分けることができます。

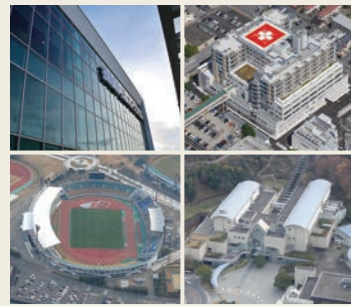
土木

自然を相手に道路やトンネル、橋などをつくり、護岸工事をして水害に備えたりするのが「土木の仕事」。人々が便利に暮らしていくための社会基盤(=インフラ)をつくっています。

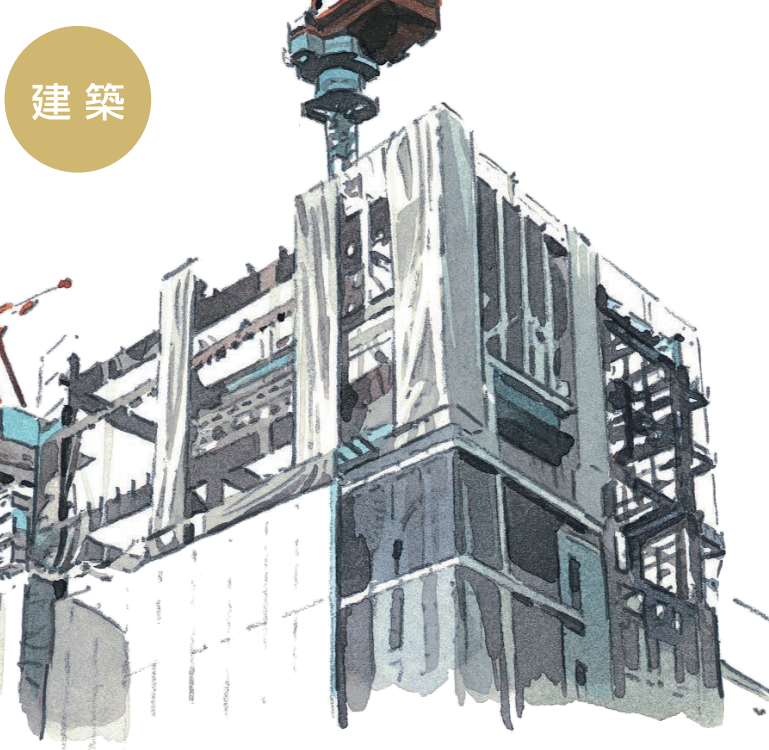


建築

私たちが住む家・マンションや、さまざまなお店、病院に駅や図書館などの公共施設、普段当たり前のよう利用している建物のすべてをつくっているのが「建築の仕事」です。



建設業の仕事の分類



建築

建築工事業

総合的な企画、指導、調整のもとに建築物を建設する工事

管工事業

冷暖房、空気調和、給排水、衛生等のための設備を設置し、又は金属製等の管を使用して水、油、ガス、水蒸気等を送配するための設備を設置する工事

大工工事業

木材の加工又は取付けにより工作物を築造し、又は工作物に木製設備を取付ける工事

タイル・れんが・ブロック工事業

れんが、コンクリートブロック等により工作物を築造し、又は工作物にれんが、コンクリートブロック、タイル等を取付け、又ははり付ける工事

左官工事業

工作物に壁土、モルタル、漆、灰、石膏、繊維等をこて塗り、吹付け、又ははり付ける工事

塗装工事業

塗料、塗材等を工作物に吹付け、塗付け、又ははり付ける工事

とび・土工事業

足場の組立て、機械器具・建設資材等の重量物の運搬配置、鉄骨等の組立て、工作物の解体などを行う工事

防水工事業

アスファルト、モルタル、シーリング材等によって防水を行う工事

電気工事業

発電設備、変電設備、送配電設備、構内電気設備等を設置する工事

内装仕上工事業

木材、石膏ボード、吸音板、壁紙、たみ、ビニール床タイル、カーペット、ふすま等を用いて建築物の内装仕上げを行う工事

熱絶縁工事業

工作物又は工作物の設備を熱絶縁する工事

建具工事業

工作物に木製又は金属製の建具等を取付ける工事

消防施設工事業

火災警報設備、消火設備、避難設備もしくは消火活動に必要な設備を設置し、又は工作物に取付ける工事

Q3 建設業で働く女性もいるの?

A3 国勢調査や労働力調査によると、建設業に従事する女性の占める割合は、15%程度。製造業と比べるとその割合は少ないのが現実ですが、建設業における女性社員の採用人数は徐々に増加傾向にあります。最近では、女性が働きやすい職場環境づくりを目指す建設会社も多く、工事現場においても颯爽と働いている女性の姿を見かけるようになりました。今や、女性は、建設会社になくてはならない重要な戦力として注目されています。



Q4 建設現場って安全なの?

A4 屋外作業や高所作業などを伴う建設現場では、労働災害の危険性が指摘される建設業。しかし近年は情報化・機械化・工場製作化が進められ、安全で効率的な職場へと変化しつつあります。現場では仮設足場の手すりや防護ネットなどの対策はもちろん、安全対策の自主管理体制を徹底させる「労働安全衛生マネジメントシステム」が普及。危険予知活動など予防的かつ継続的な活動展開によって労働災害は減少傾向にあります。



Q7 建設の仕事、その未来は?

A7 国が推進している「災害に強い国づくり」のため、防災施設や建物の耐震化、老朽化した社会基盤の維持補修などが計画的に進められ、建設業には将来の安定的な仕事が見込まれています。また、少子高齢化社会に伴う交通システムや施設の整備など、人にやさしい社会づくりも急務です。誰もが願う便利で住みやすく、安全で安心な社会。それを形にしていくのが建設業の仕事です。その役割は今後ますます重要になっていくでしょう。

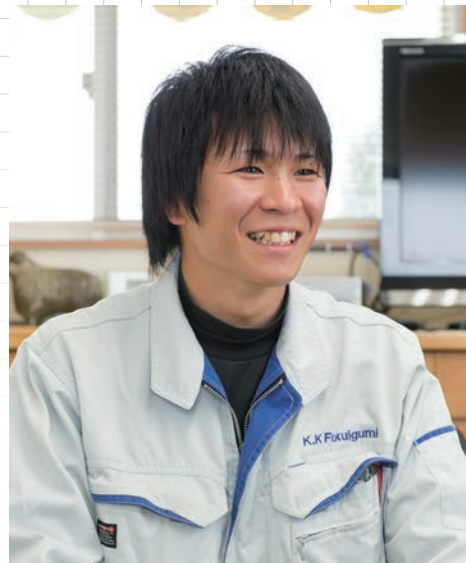


もしも建設業で働く人がいなくなったら

建設業は、人々の生活の基盤となる道路や橋、鉄道や空港・港などの交通面はもちろんガス・水道・電気など、その他たくさんのインフラを支えています。そうしたものを生み出してだけでなく、完成後も機能が劣化しないよう維持管理をしていくのが建設の仕事だということを忘れてはいけません。

もしも建設業で働く人がいなくなったら…新しく道路や建物・施設がつくれなくなると同時に、路面がひびわれ、橋や鉄道が傷んでも、直すことができなくなります。インフラの老朽化などに伴ってガスや電気・水道も次々にストップするようになるでしょう。また災害が身近に迫っても対策をうつこともできず、災害が起こっても街を立て直すことができません。

私たちが毎日を便利に過ごせているのは、大切な生活基盤をきちんと管理し、守ってくれている人たちがいるから。人々の暮らしをつくり、まもる建設業。建設の仕事は、未来を支えているのです。



井口 諒一 さん

株式会社福井組
施工管理

暮らしの中に関わるものをつくる、想像力豊かな人が向いている仕事

● この仕事に就いたきっかけは？

建設学科に進んだのは興味本位でしたが、勉強の中、何もないところから大きな建物ができていくことに感動して、建設に関わる仕事がしたいと決めました。

● 今、どのような仕事をしていますか？

作業のスケジュールや測量などのデータを管理したり、作業員の安全を確認しながら1日をスムーズに進行させることが仕事です。

今、入社して2年くらいですが、学校で学んだことと現場で感じることに違いが多く、最初は戸惑いもありました。毎日が覚えることだらけで大変ですが、学校の耐震工事に参加したり、堤防をつくったりと、みんなの暮らしの中に関わっていくものをつくることに誇りとやりがいを感じています。

● 仕事を楽しいと感じる瞬間は？

1日の作業が前日打ち合わせたイメージ通り進んだ時かな。なかなか思うようにいかないこともあります。そこが腕の見せどころだと考えています。先輩方の仕事を見ていると、段取りや指示の出し方一つひとつが的確で本当にすごい。今はとにかく、早く一人で現場を任せてもらえるようになりますね。

● どんな人が建設業に向いている？

建設業で働くには肉体的な能力が必要だと思われがちですが、必ずしもそうではないですよ。何もないところから建物ができていくイメージが持てる人など、想像力豊かな人が向いている仕事じゃないでしょうか。どこの現場も今は若い人が少ないので、若者は即戦力。一緒に働く仲間が増えたら嬉しく思います。



橋本 美春 さん

株式会社大竹組
施工管理

重機が動いているのを見たらワクワクする

● この仕事に就いたきっかけは？

私が建設学科にいた頃、女性は卒業後に設計会社へ入ることがほとんどでしたが、私はどうしても外の現場で仕事がしたくて、この会社に入りました。

● 入社後はどのような仕事を？

入社すぐ現場に出て、3ヶ月間は大工仕事を始めいろいろな作業を経験させてもらいました。その後は書類づくりなどの内業が中心になりますが、内業は特に完璧にしようと思って頑張ってきましたね。

基礎工事は構造物ができたら見えなくなるけど、書類の上ではいつまでも見えている。だからこそ、そこでアピールしたいと思うようになりました。

● 仕事を楽しいと感じる瞬間は？

どんなに忙しくても、建物ができていく過程が1番楽しいです。完成した時はもちろん嬉

しいですが、できてしまったという寂しさもありますね。

1度、出産を機に仕事を離れていた時期があるんですが、結局、建設の仕事がしたくてここに戻ってきたんです。だって、普通にオフを過ごしていても、他の現場で重機が動いているのを見たらワクワクしたり、見たことのない工事を見かけると「どうやってるんだらう？」と気になって仕方がないですよ。

● 建設業で女性が働くことについて

女性は少しずつ増えてきているみたいですね。ダンプの運転手さんや、重機に乗っている方もいますよ。力仕事は男性が向いているのかもしれませんが、私には私にできること、私にしかできないことがあると感じています。



中山 雄二郎 さん

株式会社島谷建設
施工管理

建物をつくる楽しさ、つくる喜び

● どのような仕事をしてきましたか？

建設業に就いてもう17年です。いろいろな現場をやってきましたが、一つひとつが自慢の仕事だと思っています。

印象に残ってるのは大きな県営住宅の改修工事かな。たくさんのお客さんがいたままの工事だったので大変でした。長い工期の間、どうしても騒音や振動、埃も出ます。いつも以上にコミュニケーションに気を配りながらの現場でしたが、工事が完成したら入居者の方からも改修を喜んでもらえて…。関わって良かったと思いました。

全部の現場がそうですが、無事竣工できるまで気が気じゃない。今やっているスタジアムの改修も、陸上競技やサッカーの試合日程などを考慮して工期が決まっているから、遅れるわけにはいかないですね。その

ぶん竣工の日には本当にホッとするし、やったという充実感があります。

● 建設業の魅力とは？

建築物って、同じものは他にひとつもないじゃないですか。「ひとつしかない建物」をつくって、それがずっと街の中に残っていくんです。家族で外に出かけた時とか、子どもに「自分の仕事はこれだ」って、(建物)指差して言えるのっていいですね。

建設業にはきついイメージがあって、もちろん大変なこともあると思いますが、そればかりじゃないんです。つくる喜び、つくる楽しさは他のどんな仕事より大きなものかもしれないですね。やりがいありますし、現場はいい人が多い。ずっと続けていきたい仕事だと思っています。



岡本 将揮 さん

株式会社北島組
施工管理

小さな頃、父親に学んだ建築現場の面白さ

● 建設業に入ったきっかけは？

もともと父親が建築の仕事をしていて、小さな頃によく住宅の建築現場に連れて行ってもらっていたんです。家ができていく過程や、普段の暮らしでは見えないような家の姿が面白くて、この仕事を目指すようになりました。

それまで建設業といえば大工さんのイメージが強かったのですが、現場監督という役割があることを知ったのは高校で建設の勉強を始めてからです。現場全体を最初から最後まで、自分の目で見られることに魅力を感じました。

● 仕事を楽しいと感じる瞬間は？

今の自分は設計士さんからいただいた設計図をもとに施工図をつくったり、職人さんに作業の指示を出したりしています。嬉しいのはそれを感謝されたり、役に立て

たと実感できた時ですね。

現場の職人さんたちは、いつも仕事の流れを全て把握して、自分の一歩先に気づいて作業していたり、本当にすごい。だからこそ、尊敬している先輩に認められた時は喜びを感じます。

● 好きな現場について

大きな建物が完成した時の達成感は格別ですが、一方で僕は規模の小さな現場も好きなんです。施主さんと親密に話ができたり、細かな要望を聞き取りながら仕事しやすいのが楽しい。住宅の建築に関わっていた父親の影響かもしれませんね。

今はまだ自分が主体となって現場を任されているわけではありません。もっと勉強を積んで、会社全体の仕事の枠を広げられるような人材になりたいです。



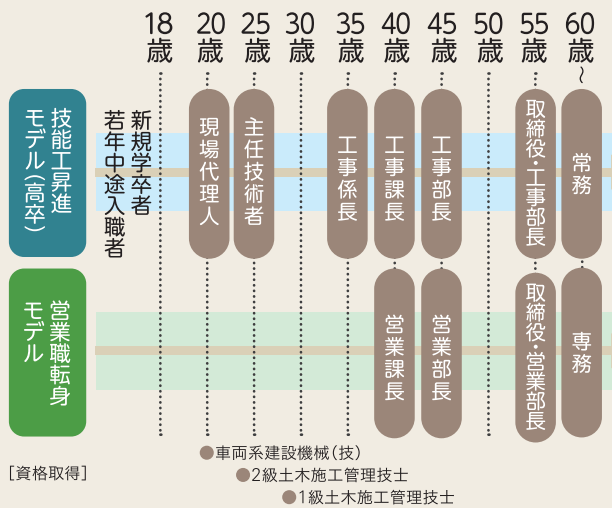
建設の仕事 Q&A

建設業、気になる職業のギモン。

いまの建設業・これからの建設業

Q1 建設業に入職後はどうなるの？

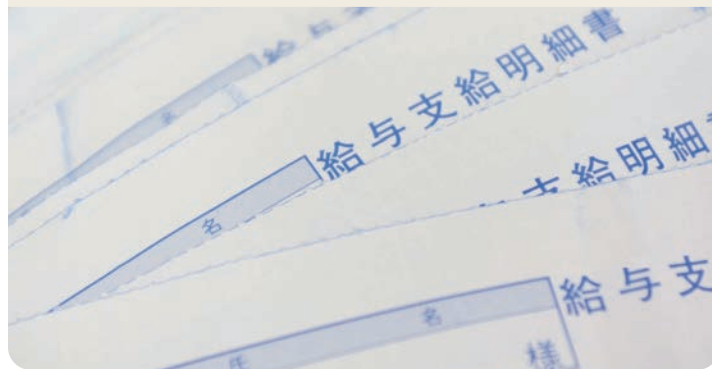
A1 より高度で複雑な仕事をこなすためには、それらに呼応した知識や技術を身につけ、資格を取得することが必要になってきます。本人の努力は当然必要ですが、スキルアップに応じて、その能力などが評価され、年齢とともにキャリアアップが図られます。下図は総合建設業における生涯モデルの一例です。



参考：●「今こそ！建設業」発行 長崎県建設産業団体連合会 厚生労働省長崎労働局

Q2 建設会社の給与はどのぐらいなの？

A2 建設業は、会社の業態がさまざま規模も大小あることから、産業全体の平均年収だけでは、実態を正確に把握することは難しいのが実状です。厚生労働省の資料によると建設業の一般労働者の年収額は概ね500万円程度となっており、公共職業安定所における近年の求人平均賃金は上昇しています。また、公共工事の工事費の積算に用いる国土交通省の公共工事設計労務単価についても上昇傾向にあります。



人をまもる・街をまもる

建設業の仕事は、建物や道路などをつくることだけではありません。みんなが安心して暮らせるよう、街をまもるのも大切な仕事です。特に2011年の東日本大震災以降、防災に対する意識の高まりとともに建設業が担う役割はより大きなものになりました。

台風や豪雨などへの対策はもちろん、発生が予想されている南海トラフ巨大地震に備えた防災・減災対策の推進は非常に重要です。学校をはじめ公共施設の耐震化、津波避難タワーの設置、トンネルや橋梁などの補強、堤防のかさ上げや避難路の整備・点検など、人々の命と暮らしをまもるため建設業は今日も一生懸命に頑張っています。



津波避難タワー

落石対策

女性の活躍

男性中心の職業と思われがちですが、近年は女性の働く姿も珍しくありません。個々の能力を活かした分野で活躍しており、女性が働きやすい職場づくりを目指す建設会社も多くなってきました。

求められる若い力

これからの建設業の役割を考えると、若者のエネルギーを欠かすことはできません。豊かな発想と創造力、フットワークで積極的に未来を切り開いていく人材を、今多くの建設現場が求めています。

Q5 建設会社の勤務時間や1日の流れを教えてください！

A5 外勤者が内勤者かなども異なりますが、厚生労働省の資料によると建設業における常用労働者の年間総実務労働時間は平成26年統計で2,078時間と発表されています。単純計算でひと月あたり約173時間。休日については建設現場も日曜日のほか土曜日を休日とする動きも増えてきました。また現場ではお正月やゴールデンウィーク、お盆休みが他の産業に比べ休日が長く設定されることも多いようです。

例・Aさん(施工管理・入社10年目)の1日の流れ

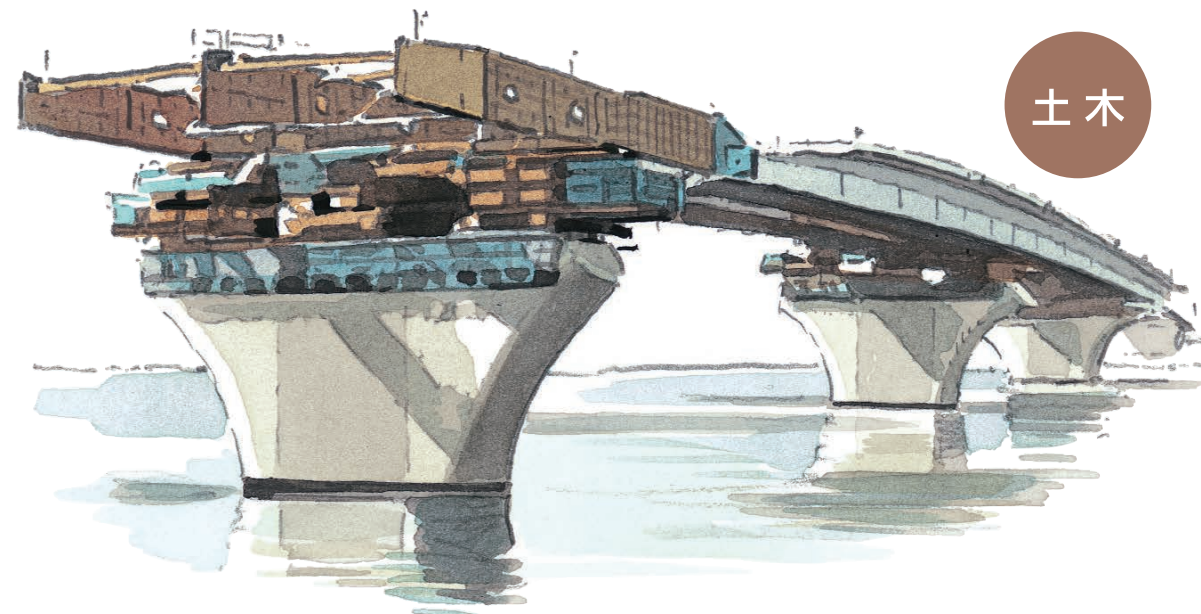
8時	9時	11時半	12時	13時	15時	16時	17時	
現場点検・職長と打合せ	朝礼・ラジオ体操	測量・現場管理など	次工程打合せ・発注者打合せ	昼食・休憩	測量・現場管理など	データ集計・図面書類作成	翌日作業の確認準備	工程・原価管理、資機材等の発注・連絡

Q6 建設業にはどんな資格の種類があるの？

A6 「建築士」や「技術士」「施工管理技士」などをはじめ国家資格と民間の各種建設業団体が認める任意資格で200種類以上と言われる資格があります。

主な資格

資格		
建設業 [技術検定]	1級建設機械施工技士	
	2級建設機械施工技士(第一種～第六種)	
	1級土木施工管理技士	
	2級土木施工管理技士	種別 土木 鋼構造塗装 薬液注入
	1級建築施工管理技士	種別 建築 躯体 仕上げ
	2級建築施工管理技士	
建築士 [建築士試験]	1級建築士	
	2級建築士	
	木造建築士	
技術士 [技術士試験]	建設・総合技術管理(建設)など	



土木

建設コンサルタント業

土木構造物をつくる際、その計画や土地の調査、設計などをすすめる仕事

測量業

ある地点からある地点までの距離や建物の高さ、河川の流量などを測定・観測する仕事

地質調査業

地質構造・基礎地盤・土または岩の性質などについて調査・計測を行い、その結果を解析・判定する仕事

<h3>土木工事業</h3> <p>総合的な企画、指導、調整のもとに土木工作物を建設する工事</p>	<h3>鉄筋工事業</h3> <p>棒鋼等の鋼材を加工し、接合し、又は組立てる工事</p>	<h3>水道施設工事業</h3> <p>上水道、工業用水道などのための取水、浄水、配水等の施設を築造する工事又は公共下水道もしくは流域下水道の処理設備を設置する工事</p>	<h3>造園工事業</h3> <p>整地、樹木の植栽、景石のすえ付け等により庭園、公園、緑地等の苑地を築造し、道路、建築物の屋上等を緑化し、又は植生を復元する工事</p>	<h3>しゅんせつ工事業</h3> <p>河川、港湾等の水底をしゅんせつする工事</p>
<h3>鋼構造物工事業</h3> <p>形鋼、鋼板等の鋼材の加工又は組立てにより工作物を築造する工事</p>	<h3>舗装工事業</h3> <p>道路等の地盤面をアスファルト、コンクリート、砂、砂利、砕石等により舗装する工事</p>	<p>※ 建設業法上の許可29業種のうち主な業種を掲載。 ※ 29業種の他にも「建設コンサルタント業」や「測量業」などの建設関連業種がたくさんあります。 ※ 詳しくは、国土交通省四国地方整備局のページで調べることができます。 建設業法のポイント 検索</p>		